

第3章 施設の状態等

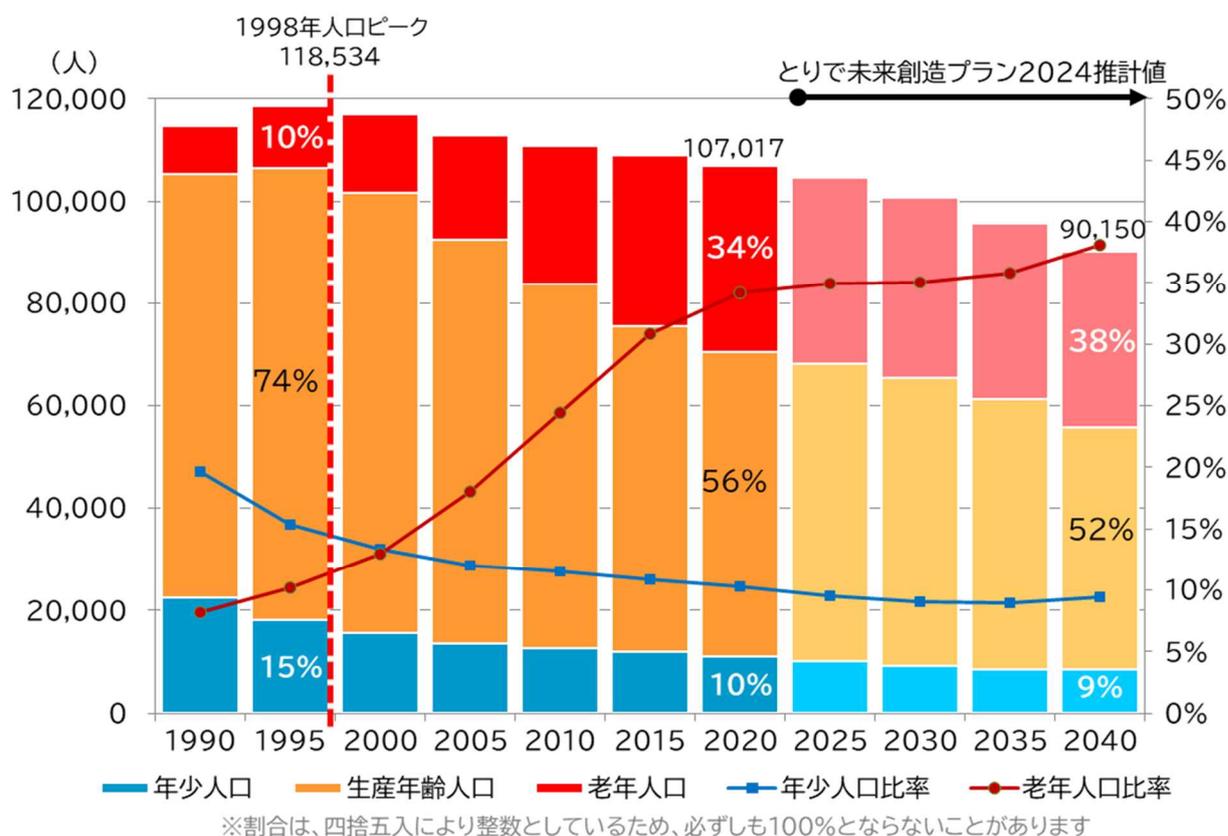
3-1 スポーツ・レクリエーション系施設の運営状況・活用実況等の実態

(1) 取手市の将来人口の推移

① 市内総人口

市の総人口は、平成10年(1998)の11.8万人をピークに減少傾向にあり、令和22年(2040)には約4分の3に減少し、2.8人に1人が高齢人口(65歳以上)になると予想されています。

図表 3-1 人口状況



出典：第六次取手市総合計画 基本計画「とりで未来創造プラン2020」

② 人口減少推移による影響

人口減少により、施設の利用率も減少することが懸念されます。また、それに伴う住民ニーズの変化に応じた計画的なストックマネジメントが一層求められます。

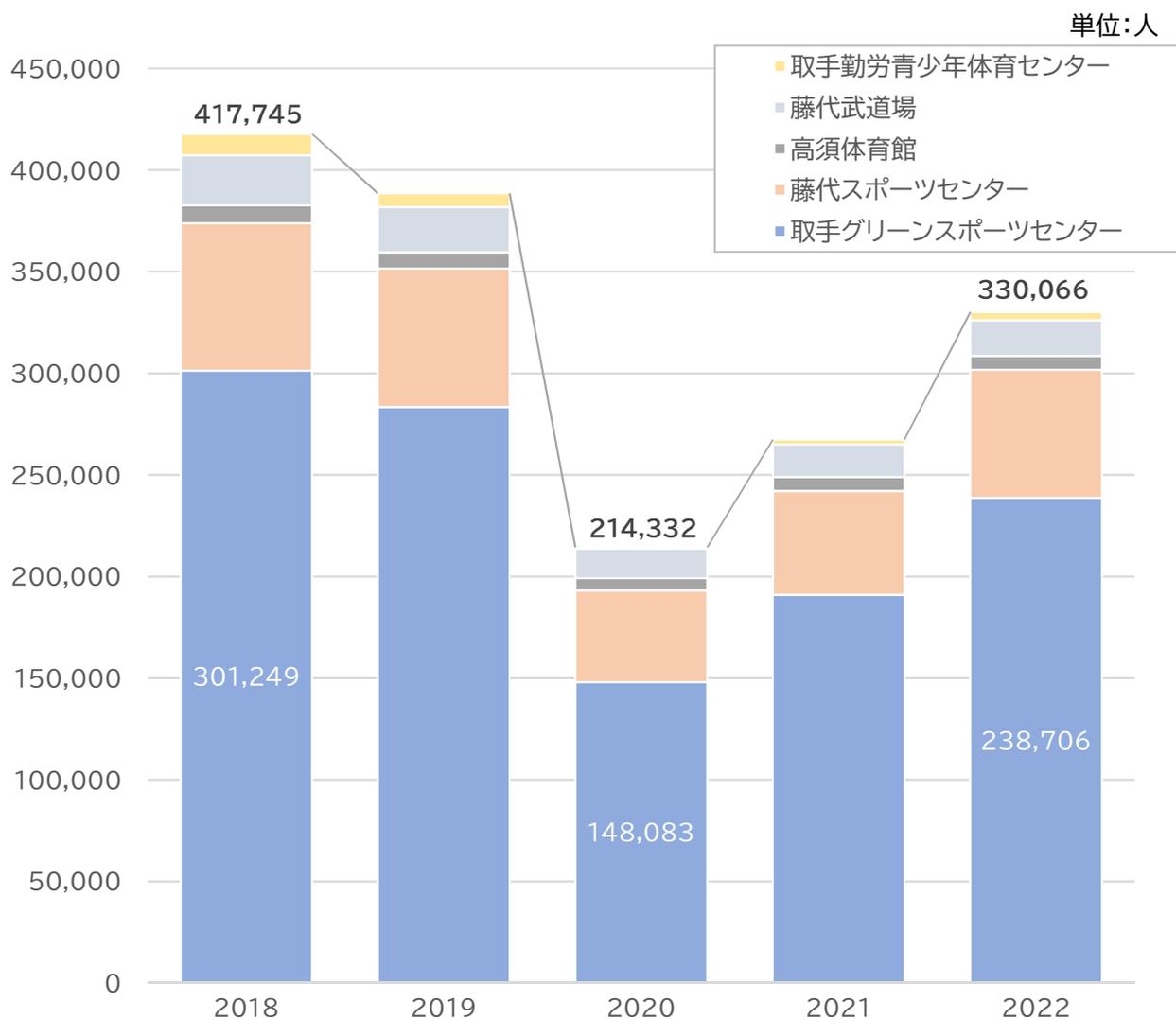
(2) 現在の利用状況

図表3-2のとおり対象施設全体の利用者数に占める割合は、市内唯一の屋内プールを備えるほか、アリーナ、トレーニングジム、武道場がある取手グリーンスポーツセンターが約7割、次いで規模の大きい藤代スポーツセンターが約2割を占めています。取手勤労青少年体育センターは、各種選挙の開票や確定申告受付等の市の業務で使用することから、利用者数は変動があります。

(3) 利用状況の変化

令和2年度(2020)は、新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が減少しました。令和3年度(2021)以降は、回復しつつある状況です。

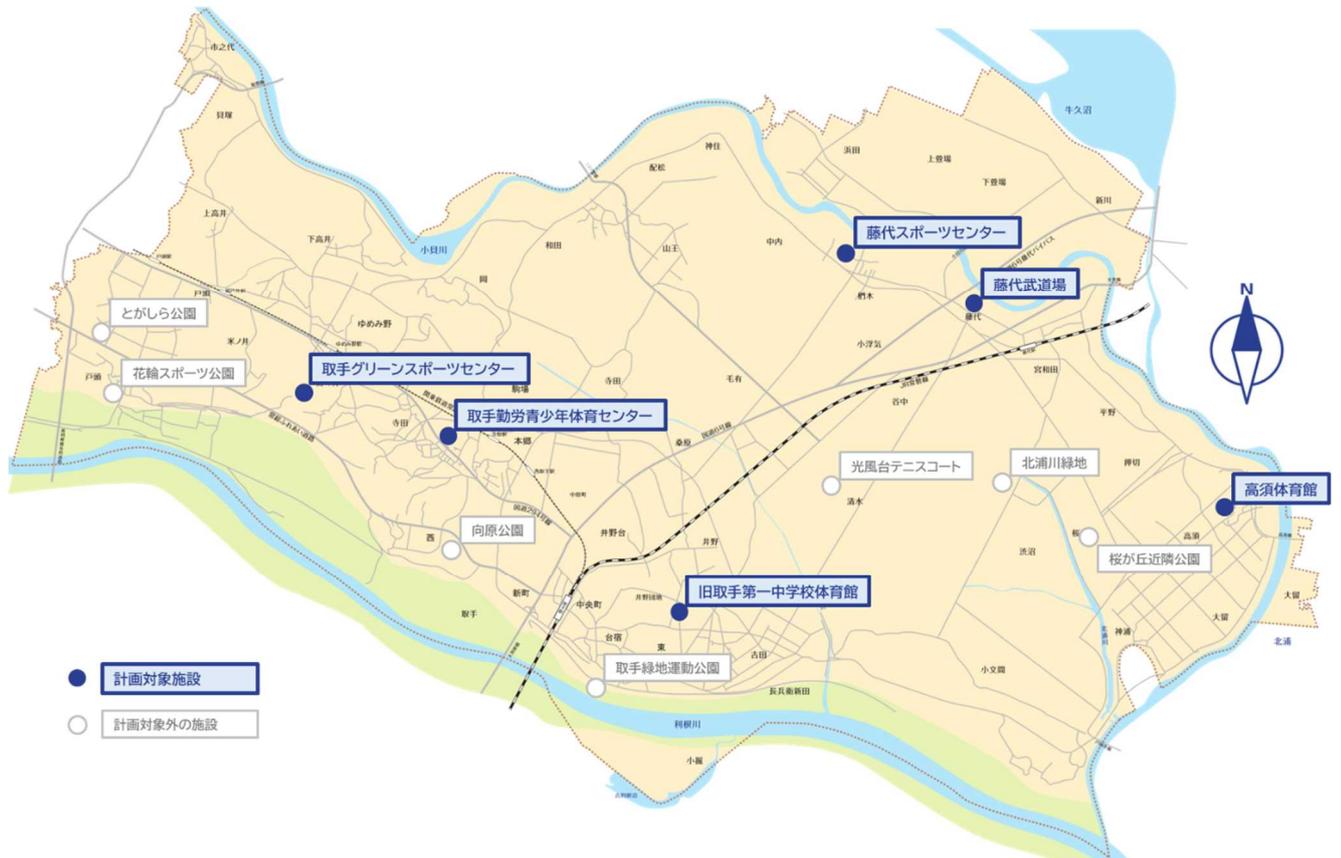
図表 3-2 各施設の利用状況



(4) スポーツ・レクリエーション系施設の配置状況

本計画の対象となる、6施設の市内の配置状況は以下のとおりです。

図表 3-3 スポーツ・レクリエーション系施設の配置状況



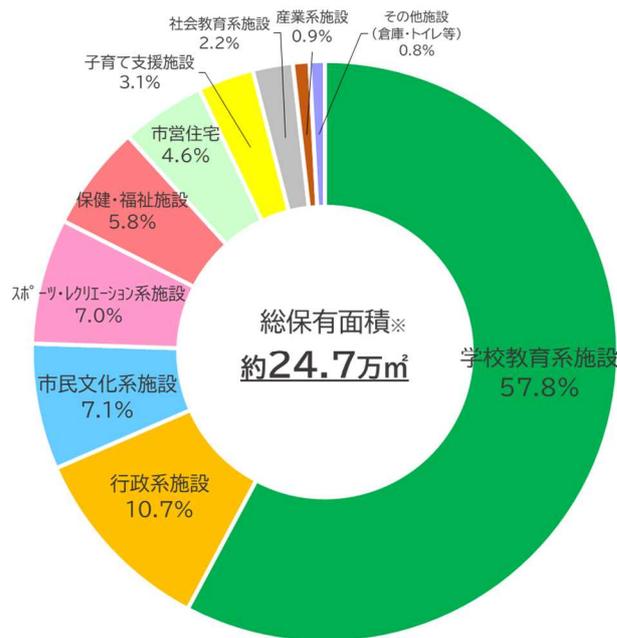
(5) スポーツ・レクリエーション系施設の保有量

① スポーツ・レクリエーション系施設の現状

本市は平成27年(2015)時点で約24.7万㎡の公共施設を保有しています。

スポーツ・レクリエーション系施設については19,371㎡保有しています。

図表 3-4 類型別公共施設保有割合



※総合管理計画策定(H27年)当時の保有面積

出典：取手市公共施設等総合管理計画

② 築年別整備状況

■ 取手グリーンスポーツセンター

平成元年(1989)建築

平成29年(2017)に第1、第2体育室床改修工事を実施

平成30年(2018)にトイレ改修工事を実施

■ 藤代スポーツセンター

平成3年(1991)建築

令和4年(2022)にトイレ全面改修工事を実施

■ 藤代武道場

昭和57年(1982)建築

令和4年(2022)に空調設備の改修工事を実施

■ 高須体育館

昭和55年(1980)建築

改修工事等は未実施、外壁や躯体を中心に劣化が著しい状態

■ 旧取手第一中学校体育館

昭和46年(1971)建築

平成28年(2016)3月に策定した「旧取手第一中学校跡地及び井野小学校跡地に関する利活用計画」において必要な改修を実施して、社会体育施設及び避難所として継続的に利用することを決定したことから、令和7年(2025)に大規模改修工事を予定しています。

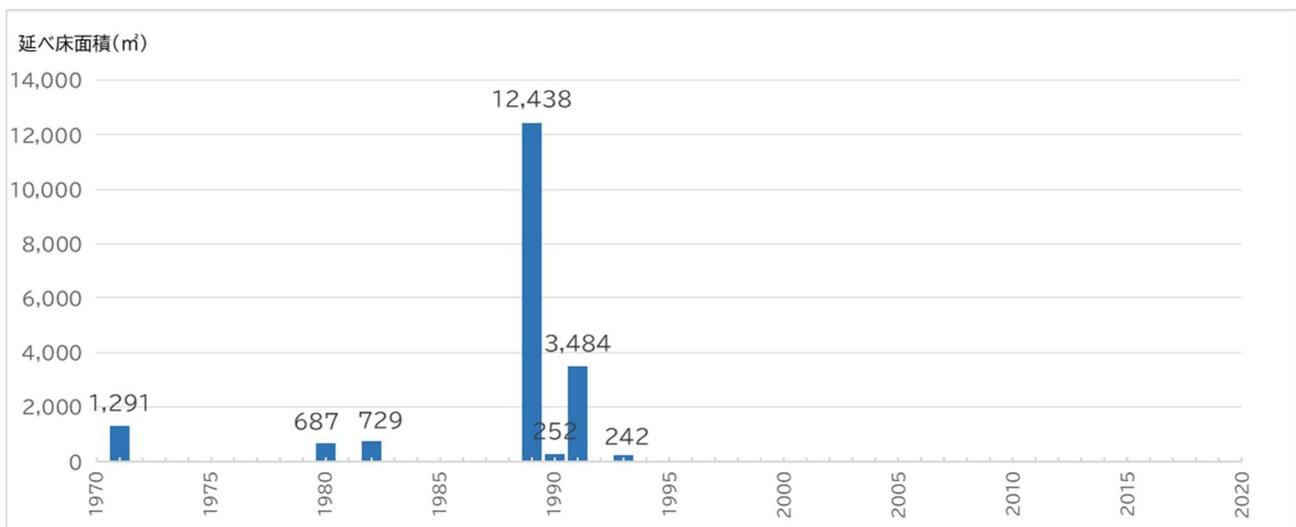
■ 取手勤労青少年体育センター

昭和49年(1974)建築

令和3年(2021)にトイレ改修工事を実施

令和6年(2024)にカーテン設置工事を実施

図表 3-5 スポーツ・レクリエーション系施設の築年別整備状況



(6) 施設関連経費の推移

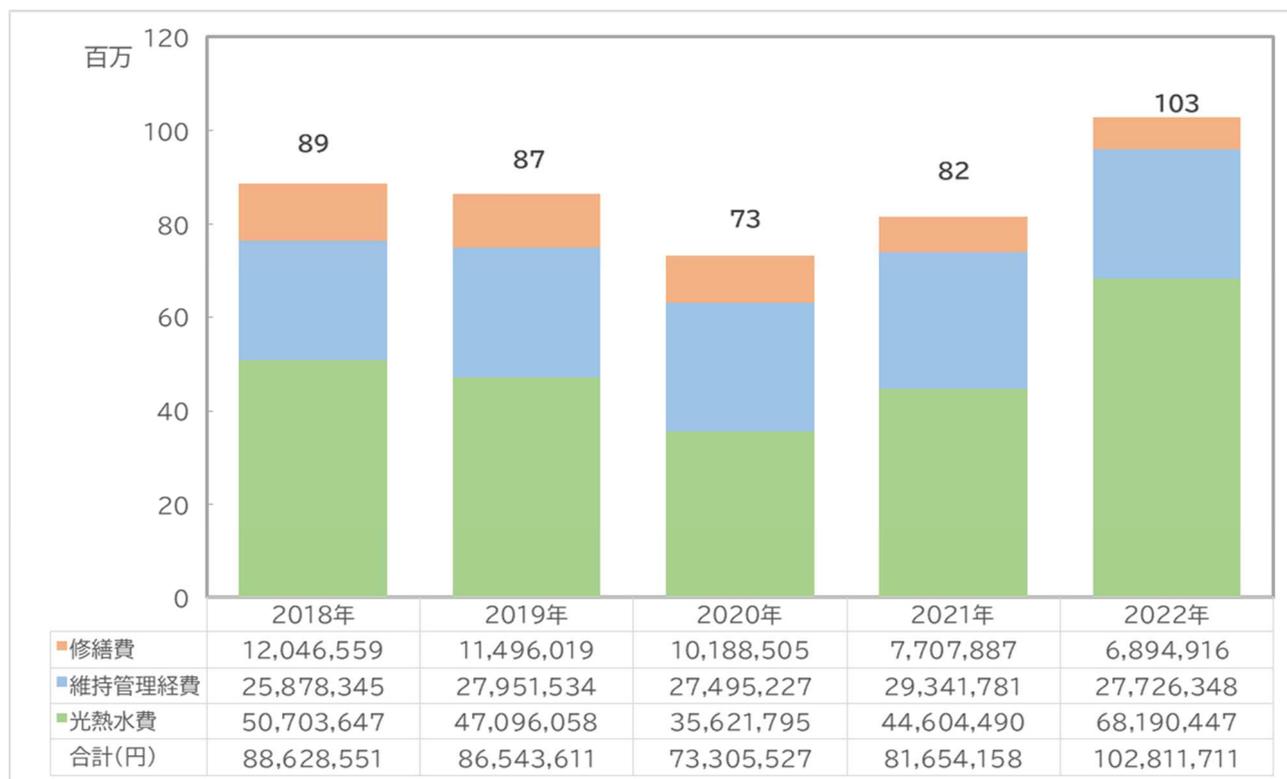
平成30年度(2018)から令和4年度(2022)までの5年間の施設関連経費の推移を、修繕費・維持管理経費・光熱水費の3項目に分けた状況は、図表 3-6のとおりです。

修繕費は、直近5年間の平均が9,666,777円です。年度別にみると、平成30年度(2018)が12,046,559円であるのに対し、令和4年度(2022)が6,894,916円と、年度によって大きく開きがあります。例年、トイレ水栓や照明等の軽微な修繕を行っていますが、平成30年度(2018)は、主に取手グリーンスポーツセンター及び藤代スポーツセンターの空調設備改修工事等を行い修繕費が増加しています。

維持管理経費は、直近5年間の平均が27,678,647円で、ほぼ横ばいで推移しています。

光熱費は、直近5年間の平均が49,243,287円です。年度別にみると、令和4年度(2022)が68,190,447円であるのに対し、令和2年度(2020)が35,621,795円と、年度によって開きがあります。その理由として、令和2年度(2020)は、新型コロナウイルス感染症の影響により休館となり、電気、水道の利用が少なかったことが挙げられます。

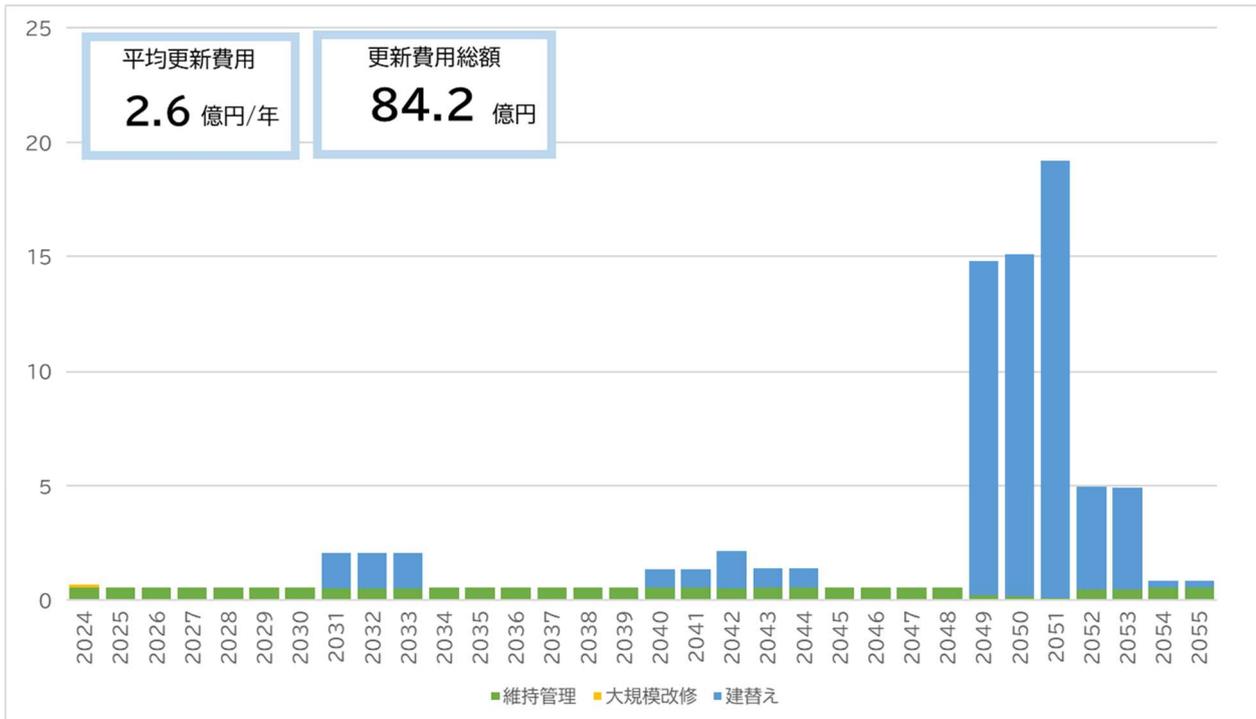
図表 3-6 スポーツ・レクリエーション系施設の施設関連経費の推移



(7) 今後の維持・更新コスト(従来型)

スポーツ・レクリエーション系施設を従来通り維持管理していく場合、建替えや大規模改修を含め今後30年間で平均2.6億円、総額84.2億円のコストがかかります。

図表 3-7 スポーツ・レクリエーション系施設の今後の維持管理更新コスト(従来型)



(8) 各施設の概要

施設名称 取手グリーンスポーツセンター

所在地	取手市野々井1299番地	地区	永山地区
所管課	スポーツ振興課		
用途	その他集会所施設		
配置形態	複数棟施設		
延床面積(施設全体)	12,413 m ²	敷地面積	52,403 m ²
棟数	1		
運営形態	指定管理者	運営時間	9:00~21:00
定休日	定休日は月曜日(祝日を除く) 年末年始(12月29日~1月3日)		
避難所指定	避難所		



棟情報								
番号	棟名称	延床面積	耐震性	構造	建築年	築後年数	耐用年数	劣化状況
3001	取手グリーンスポーツセンター	12413	○	SRC造	1989	35	60	67.19

施設名称 **藤代スポーツセンター**

所在地	取手市栲木15番地	地区	藤代地区
所管課	スポーツ振興課		
用途	その他集会系施設		
配置形態	複数棟施設		
延床面積(施設全体)	3,484 m ²	敷地面積	108,696 m ²
棟数	1		
運営形態	直営	運営時間	9:00~21:00
定休日	定休日は月曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始(12月29日~1月3日)		
避難所指定	避難所		



棟情報									
番号	棟名称	延床面積	耐震性	構造	建築年	築後年数	耐用年数	劣化状況	
3002	藤代スポーツセンター	3484	○	RC造	1991	33	60	59.52	

施設名称 **高須体育館(旧高須小学校)**

所在地 取手市高須2151番地 地区 高須・桜が丘地区
 所管課 スポーツ振興課
 用途 その他集会系施設
 配置形態 単独施設

延床面積(施設全体) 687 m² 敷地面積 11,670 m²
 棟数 1
 運営形態 運営時間 9:00~21:00
 定休日 定休日は月曜日(祝日の場合は翌日)
 年末年始(12月29日~1月3日)
 避難所指定



棟情報									
番号	棟名称	延床面積	耐震性	構造	建築年	築後年数	耐用年数	劣化状況	
3003	高須体育館(旧高須小学校)	687	○	S造	1980	44	60	60.32	

施設名称 **藤代武道場**

所在地 取手市藤代430番地5 地区 藤代地区
 所管課 スポーツ振興課
 用途 その他集会系施設
 配置形態 単独施設

延床面積(施設全体) 729 m² 敷地面積 2,424 m²

棟数 1

運営形態 直営 運営時間 9:00~21:00

定休日 定休日は月曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始(12月29日~1月3日)ただし、早朝利用(午前6時~午前9時)は、土曜日・日曜日・祝日の団体利用のみ

避難所指定



棟情報								
番号	棟名称	延床面積	耐震性	構造	建築年	築後年数	耐用年数	劣化状況
3004	藤代武道場	729	○	S造	1982	42	60	62.52

施設名称 **旧取手第一中学校体育館**

所在地 取手市井野三丁目15番1号 地区 取手東地区
 所管課 スポーツ振興課
 用途
 配置形態 単独施設

延床面積(施設全体) 1,291 m² 敷地面積 22,156 m²

棟数 1

運営形態 直営 運営時間 9:00~21:00

定休日 定休日は月曜日(祝日の場合は翌日)
 年末年始(12月29日~1月3日)

避難所指定 避難所



棟情報

番号	棟名称	延床面積	耐震性	構造	建築年	築後年数	耐用年数	劣化状況
4152	旧取手第一中学校体育館	1291	○	RC造	1971	53	60	66.57

施設名称 **取手勤労青少年体育センター**

所在地 取手市寺田5139番地 地区 取手西地区
 所管課 産業振興課
 用途
 配置形態 単独施設

延床面積(施設全体) 767 m² 敷地面積 0 m²
 棟数 1
 運営形態 直営 運営時間 9:00~21:00
 定休日 年末年始(12/29~1/3)
 避難所指定



棟情報								
番号	棟名称	延床面積	耐震性	構造	建築年	築後年数	耐用年数	劣化状況
3005	取手勤労青少年体育センター	767	○	S造	1974	49	60	74

3-2 スポーツ・レクリエーション系施設の劣化状況の実態

スポーツ・レクリエーション系施設の劣化状況につきましては、当市で導入している公共施設マネジメントシステム(以下「システム」という。)の総合劣化度を基準とします。

(1) 総合劣化度

統一的な基準で、建物の劣化状況を把握するため、建物調査シート(巻末:参考資料)を用いて、建物ごとに調査を実施します。調査の結果はシステムに入力します。システムは、入力結果から各建物の部位ごとの劣化状況を a から d で判定し、各部位の調査結果、築年数や改修状況を加味した、総合劣化度を出力します。総合劣化度は、20 点から 100 点となり、点数が高いほど劣化が進行しています。

(2) スポーツ・レクリエーション系施設の総合劣化度一覧

対象施設すべての建物について、全体的に躯体及び外部仕上げの劣化が進行しています。また、主要室の劣化も進行しており、早期の改修が必要な状況です。特に劣化が著しい旧取手第一中学校体育館については、令和7年度(2025)に大規模改修を予定しています。

